

# 板東の記憶、旅に出る

## — 巡回展の最終章・神戸へ



板東俘虜収容所に収容されていたドイツ人捕虜たちの集合写真

約百年前、鳴門市大麻町板東に存在したドイツ人捕虜収容所。そこでは、戦争のさなかにありながらも、音楽・スポーツ・出版など多彩な文化活動が花開き、日本とドイツの人々が心を通わせていました。

本巡回展は、徳島県と鳴門市ドイツ館が連携し、板東俘虜収容所の歴史と資料がもつ価値を広く伝えるため、板野町・松茂町・石井町など、徳島県内各地を巡って開催してきました。

最終地点となる神戸会場（新開地アートひろば）では、神戸と板東をつないだ歴史をたどり、捕虜たちのその後の人生や、文化がどのように広がっていったのかに焦点をあてた特別展示を行います。

「記憶を未来へつなぐ旅」。板東の記録が伝えるメッセージに、いま一度耳を傾けてみませんか。

巡回展開催 「記憶をつなぐ旅」  
— 板東俘虜収容所と地域の物語 —

### 展示スケジュール

◎入場無料

■特別展示：神戸会場・新開地アートひろば

▶ テーマ展示：「神戸と板東俘虜収容所  
— 捕虜が遺した文化と記憶」

会期：2026年3月13日（金）～3月22日（日）

時間：午前10時～午後7時 休：3/17

会場：ギャラリー

（兵庫県神戸市兵庫区新開地5丁目3-14）

板東と神戸がつないだ文化の記憶を、現地でたどる特別展示。音楽や出版を通じて、ふたつの土地に刻まれた交流の軌跡をひもときます。



板東俘虜収容所  
Itano Prison Camp  
Détail des prisonniers de guerre à Itano  
Cuisine, boulangerie, pâtisserie et fabrique de savons

『大正三四年戦役 俘虜写真帖』 俘虜情報局発行 1918（大正7）年

板東の記憶を世界の記憶に

### 関連イベント

◆プレ講座（入場無料・申込不要）

「神戸と板東俘虜収容所

— 捕虜が遺した文化と記憶」

日時：2026年2月21日（土）

午後1時30分～午後2時15分

会場：鳴門市ドイツ館 大会議室

（徳島県鳴門市大麻町桧東山田55-2）

講師：長谷川 純子（鳴門市ドイツ館・学芸員）

※神戸展示の見どころを事前に紹介します。

◆展示解説（在廊対応）

神戸会場（新開地アートひろば・ギャラリー）

日時：2026年3月20日（金・祝）

午後1時～午後3時

担当：長谷川 純子（鳴門市ドイツ館）

※会期中に担当者が会場にて在廊し、

展示解説やご質問にお応えします。



元板東の捕虜 グロスマンの墓 再度山外国人墓地（神戸市）

主催：徳島県文化資源活用課・鳴門市ドイツ館

協力：神戸市建設局公園部森林整備事務所